

学校教育目標 「感性をみがき、未来を生きぬく力を育む学校」

教職員の「心意気」

「深い愛情と高い志をもって 一人一人の生徒を大事にする学校をつくる」(どの学校よりも生徒たちを大事にする学校をつくる)
～ 幸せになるために生まれてきた全ての生徒たちのために 今の幸せを保障し 未来の幸せにつなげる学校にする ～

校訓 「学ぶ 響く 琢く」

だから 授業や生徒と向き合う時間を大事にしていく

学ぶ

夢の広がる学校 探究力

- <重点1>
授業に係る「チャレンジ研究」の主体的な設定と実践、及び外部講師（伴走支援）招聘による校内研究の推進と深化
- <重点2>
定期的な教科部会による日常的な研修体制の構築
- <重点3>
一人一台端末等を効果的に活用した家庭学習の充実と授業との連動



響く

心が響きあう学校 自治力

- <重点4>
体験的な活動を核にした生徒会活動の活性化と生徒会活動・学校行事等、生徒の主体的な活動推進による集団づくり
- <重点5>
「学級スローガン」の達成に向けた振り返り活動の重視等による人間関係づくりや所属意識の醸成



琢く

活力に満ちた学校 挑戦力

- <重点6>
「パワーアッププロジェクト」による学習意欲・気力・体力の向上（保健・特別支援教育・生徒指導の連携）
- <重点7>
地域行事・地域ボランティア活動への積極的な参加による「心づくり」の推進



研究の目的

生徒に学びの満足感と確かな学力を育むために、探究的に授業改善に努める

研究の全体構想図

学校教育目標 感性をみがき、未来を生きぬく力を育む学校

研究主題 “わかる!” “できる!” “もっと!”のために
チャレンジを積み重ねる生徒の育成

【研究主題について】

2年間の個人研究を経て、確かな学力を育み、生徒も教師も幸せな生活を送るために「チャレンジ」を合言葉に据えた。主体性を大切にしながら、学校全体が前向きに目標に向かっていくことを目指す。個人研究で磨いた分析力や仮説検証の方法を生かし、学力と人間性の向上の両面を確実に育んでいく。

どんな個人テーマを設定していくのか

自分の悩み、課題の発見(例)リスニングの力が弱い 話し合いが一方通行など

教科部会での洗い出し

【課題解決のための情報】

- ◇NRTの分析 ◇観察やアンケートの実施
- ◇先進校の取組の参観 ◇他の先生の授業参観
- ◇専門書等による研修 ◇他校の先生との情報共有
- ◇新たな指導法への挑戦

【探究活動を深める】

【チャレンジの設定】

教科部会で話題をシェアし、
アドバイスし合う

①年間計画に研修会を設定し、授業力向上を図る。

校内研修のポイント ・授業づくり ・評価授業改善の視点 ・研究のまとめ

②授業研究会を計画

③深い学びにつながる授業づくり研修会（篠ヶ谷教授 学習院大学）

令和7年度 生徒会 スローガン



制作：佐藤 加奈
後藤菜々美
(平成27年度生徒会)

楯中生徒会のチーム名は「楯中Hornets(ホーネッツ)」。Hornetsとは英語で「蜂」の意味。蜂は集団で行動し、一匹一匹が集まると巨大な力を発揮します。さらに、仲間を大切にします。

with you

～ 地域 仲間 創造 ～

「with you」この言葉には、楯中生が共に歩み、支え合い、そして一緒に未来を切り開いていこうという思いが込められています。私たちひとりひとりが持っている力を集め、協力しあうことで、学校全体が一丸となって何ごとにも意欲的に取り組むことができる生徒会を目指していきましょう。

生徒会活動 3つの柱



楯中パワーアッププロジェクト事業 全体図



四月	第二十回入学式 前期始業式 PTA総会
五月	地区中駅伝大会 修学旅行（三年生）
六月	地区中水泳大会・総体 吹奏楽コンクール
七月	職業体験（二年生） 県中総体
八月	東北中総体 芸術鑑賞教室
九月	地区中新人総体 資源回収 運動会
十月	三者面談・通知表配布 前期終業式・後期始業式 生徒会選挙 県中新人総体 文化祭
十一月	上級学校訪問（二年生） 新入生入学説明会（児童） 生徒会任命式 むらやま教育のつどい 地区中総合文化祭
一月	新入生入学説明会・保護者 吹奏楽アンサンブルコンテスト 公立高等学校前期選抜A 私立高等学校入試開始 立志式（二年生）
二月	公立高等学校前期選抜B 公立高等学校一般入試 修了式
三月	第二十二回卒業証書授与式

年間行事予定

